

台湾本島新北市におけるランピースキン病の発生について

4月15日、台湾本島北部の新北市の肉牛農場においてランピースキン病の発生が確認されました。

本病は、昨年6月に中国福建省、7月に台湾金門島での発生以降、東アジア、東南アジアでの感染が拡大しており、今年4月にはタイでも初発生が確認されています。

本病はハエ、カ、ヌカカ、ダニなどの節足動物によって媒介されます。必要に応じた駆除対策や、毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状がある場合は、速やかに家畜保健衛生所へ届出してください。



ランピースキン病とは

ウイルスが原因の牛と水牛の病気です。

症状は、食欲不振、発熱のほか、全身、特に頸部、背側、脚部、外陰部などに数個～数百個の結節ができます。その他、泌乳量の減少や浮腫が認められます。

日本のような清浄国では、摘発と淘汰が必要となります。

飼養牛に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所	宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200	FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611	FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314	FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)